

# Rotary Club of AMA weekly report.



2024~2025年度  
国際ロータリーテーマ

ロータリーの  
マジック



2024-2025年度 R1会長 ステファニー A. アーチック  
第2760地区ガバナー 吉川 公章  
会長 後藤 裕一 副会長 板津 和博  
幹事 神野 恭寿  
例会日 毎週月曜 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル 17Fルビナス  
【公共イメージ向上委員会】  
委員長 竹田 竜一郎 副委員長 臼井 幹裕  
委員 黒野 謙太郎・中西 巧・山田 広明

【事務所】〒453-0015 名古屋市市中村区椿町17番16号 丸元ビル TEL(052)451-6617 FAX(052)451-6710 e-mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp

## 2024年 11月11日(晴れ) 第1週 第2487回例会

Song ”君が代・奉仕の理想”  
Guest 米山奨学生 バトスフェ・ガンボロルさん

### Attendance

会員	65名	欠席	13名	出席率	76.36%
----	-----	----	-----	-----	--------

President Time 後藤裕一 会長



皆さん、こんにちは。先般の米国の大統領選挙で、予想されたよりも大差でトランプさんが第47代大統領に再任されました。この先の世界情勢はますます混迷に向かって行くと言われてますし、我が国においても自公政権が過半数割れして不安定な政治情勢となり、先行きに懸念材料だらけとなったタイミングで11月9日・10日2日間に亘って名古屋観光ホテル、そして名古屋国際会議場で地区大会が開催されました。参加の皆さん、お疲れ様でした。地区大会の報告は後ほどさせていただきますが、時局にあった講演そして吉川公章ガバナーの平和構築への思いがこもった地区大会でした。

11月2日(土) 社会奉仕委員会と青少年奉仕委員会合同での本年度のロータリー財団地区補助金事業「東白川村環境学習」檜50年育成プロジェクトであま地区のボーイスカウトと共に東白川村に行っていました。松井社会奉仕委員長はじめ社会奉仕委員会の皆さん、加藤文彦青少年奉仕委員長並びに青少年奉仕委員会の皆さん、さらに参加の皆さんお疲れ様でした。1日中雨の悪天候でしたが植木の主たる目的が建築資材等の資源生産から樹木の二酸化炭素を吸収し成長することを利用した二酸化炭素削減で地球温暖化の防止に代わっていること、そして「森の循環サイクル、1：苗木を植える、2：間伐・枝打ち・害虫対策での育てる、3：計画的な伐採、4：製材所で建築材・家具・工芸品・紙などの用途向けの製材」を学び、有意義な体験とすることができました。ありがとうございました。

さて、クラブ細則及び内規に従いまして9月30日に加藤春視直前会長、竹田竜一郎直前幹事、神野現幹事、黒川会頭エレクト及び現会長後藤裕一の5名で次々期会長候補者として稲垣秀樹君を指名いたしました。本例会において稲垣秀樹君を次々期第58代会長候補者とするにつき、会

<b>Today</b>	11月25日(第2488回)
担当	西川広樹 ロータリー財団委員長
演題	クラブフォーラム ロータリー財団委員会
<b>Next Week</b>	12月2日(第2489回)
担当	稲垣秀樹 プログラム委員長
演題	卓話「弁護士ここだけの話」 家田安啓会員、臼井幹裕会員、山田朝子会員

員の承認をお願いしたいと思います。賛成の方は拍手をお願いします。(拍手)有難うございます。以上を踏まえ私は、会長、幹事、次期会長、次期幹事及び次々期会長の5名を次期理事役員候補指名委員とし、追って指名委員会を開催します。指名委員長は12月2日の例会において次期理事役員候補者を発表し、会員の承認を求める予定です。会長挨拶は以上として、会長ノミニーの稲垣秀樹君からご挨拶をいただきます。

## Secretary Report

### 神野恭寿 幹事

- 1 ローターレートが11月1日より1ドル153円(10月142円)に変更となりました。
- 2 次週11月18日(月)は勤労感謝の日の振替による休会です。次回例会は11月25日(月)になります。



米山奨学生 バトスフェ・ガンボロルさんに奨学金贈呈

## ニコボックス

### ご投函有り難うございます

後藤裕一 会長

昨日の地区大会参加の皆様、お疲れ様でした。小倉君、山田朝子君、報告よろしく申し上げます。

11月2日、東白川村での奉仕事業、松井委員長、加藤文彦委員長他参加の皆様、お疲れ様でした。

板津和博 副会長

昨日の地区大会参加の皆様、お疲れ様でした。

米山奨学生のバトスフェ・ガンボロルさん、ようこそあまRCへ。どうぞ例会をお楽しみください。

社会奉仕・青少年奉仕委員会の地区補助金事業「東白川村環境学習 檜50年育成プロジェクト」に参加の皆様、お疲れ様でした。あいにくの雨となりましたが、

ボーイスカウトの子供たちとあまRCの子供たちによる、植樹体験だけは何とか出来て良かったです。

神野恭寿 幹事

地区大会ご参加の皆様、お疲れ様でした。本日の発表よろしく申し上げます。

西川広樹君

財団にご協力頂き有難うございました。お陰様で26口のご寄付を頂きました。

浅野世志雄君

東海君へ、先日バッテリー上り、息子さんに助けて頂きました。有難うございました。

先日、米山でお世話になったジェームズ・オデロ君が遊びに来ました。今は豊田通商のエネルギー部門で働いているそうです。「皆さんに大変お世話になり、有難うございました。元気にやっています」との近況報告の伝言です。

加藤春視君

横井君と目と目が見つめあいましたので!!

北野庸夫君

先週、赤目四十八滝に行って来ました。良い景色と滝に感動しました!

誕生祝、有難う!

田中正博君

ニコボックス委員会の皆様、ご苦労様です。

本日は2024-25年度地区大会報告です。報告者の皆様、よろしく申し上げます。

服部竜也君

本日は2024-25年度地区大会報告です。報告者の皆様、よろしく申し上げます。

伊藤英毅君

今週は鈴村君の企画で、ふぐを食べる会を楽しみにしています。

神谷 智君

本日は2024-25年度地区大会報告です。報告者の皆様、よろしく申し上げます。

黒野晃太郎君

11月になり、朝晩冷えるようになりました。日頃から体調管理に気をつけましょう。

水野 真君

108回日本舞踏工藤流で、浅野君の妹さん熱演。学生でロータリーで踊られたことを思い出しました。

水谷安紀君

13年前の11月11日にタバコをやめました。

小倉廣三君

本日は2024-25年度地区大会報告をさせていただきます。よろしくお願ひします。

大竹敬一君

地区大会お疲れ様でした。加藤文彦君、竹田君、弁当手伝ってくれて有難う。

大西晃弘君

地区大会ご参加の皆様、お疲れ様でした。

武井 正君

秋の家族会、大変楽しめました。親睦活動委員会の皆様、有難うございました。

山田朝子君

ニコボックス委員会の皆様、ご苦労様です。

横井久雄君

11月になり、朝晩冷えるようになりました。日頃から体調管理に気をつけましょう。

合 計 47,000円

## 地 区 大 会 報 告

後藤裕一会長



11月9日・10日の2日間において2024-25年度の地区大会が春日井RCをホストクラブとして名古屋観光ホテル・名古屋国際会議場において開催されました。大会2日目に関してはこの後の小倉副幹事、山田朝子会場委員長にお任せしたいと思いますが、一点触れておきたいのはテレビ等でおなじみの宮家邦彦内閣官房参与による記念講演が、前大統領のトランプさんが大統領に再び選出されて今後の世界情勢が益々混乱していくのか色々と言われているタイミングであって、例年以上に興味深く講演を聞いておられ

る会員が多かったように見受けられました。やはり、講師は時局にあった人、著名な人だと皆さん話を聞きたいのだろうと感じた1日でした。

大会1日目は神野幹事と共に本会議、水野功RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会に参加してまいりました。本会議においては吉川公章ガバナー、水野功RI会長代理のごあいさつの後地区大会議事に基づいて報告事項、決議事項が決議されました。そののち2006-07年ロータリー平和フェローであった大豆本由紀氏による特別講演を拝聴しました。大豆本さんのロータリー平和奨学生になる事への思い、そして紛争地域での経験に基づいたお話には深く感じ入りました。大豆本さんの講演の後、RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会においては水野功RI会長代理、吉川公章ガバナーなど特別出席者の方々と出席された会員と会食、歓談のひと時を過ごしロータリーの友情の輪を広げてまいりました。

今年度の地区大会は吉川公章ガバナーの平和構築活動への思い入れが深く感じられるものであり、1日目の大豆本さんへ感極まって涙されながらの謝辞、そして世界との懸け橋となる青少年交換留学生（受入・帰国・派遣候補生）、米山奨学生、愛知ロータリー学友会が登壇され全員が紹介されるなど、ロータリーの目的の1つ奉仕の精神で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進することを強く打ち出した地区大会であったと感じます。

山田朝子君



10日に、国際会議場のイベントホールで開催されました地区大会本会議に参加いたしましたのでご報告いたします。開会の後、RI会長代理である水野功国際ロータリー理事が入場されました。今回のホストクラブが春日井RCですので

そのご縁と思いますが、春日井泉高校書道部によるオープニングアトラクションが行われました。大きな紙に、高校生が不易流行と書き、最後の点を吉川公章ガバナーが入れました。吉川ガバナーからは、松尾芭蕉のこの言葉、いつまでも変わらないものを大事にし、新しいことにチャレンジする、これはまさに今のロータリーを表しているとお話がありました。

そのあと、吉川ガバナーから、2760地区の現況報告をしていただきました。2760地区は、10月31日現在、会員数が4615人、女性が5.94%ですが、全世界では26.62%です。50歳未満の会員は、2760地区は11.76%、全世界は23%とのことです。女性と若手の増加が必要とのことでした。また、2760地区の会員数の動向について、年度ごとに、年度当初である7月、3か月後の10月、期末の6月の会員数を比較した分析結果が発表されました。期の当初は会員が増加するが、1年後の6月末には、年度当初の7月よりも減少する傾向にあります。増加が維持できず、会員の持続可能性を図る必要があるとのことでした。また、マイロータリー、クラブセントラルについてもお話がありました。マイロータリーの登録率は、2760地区は、55.55%とのことです。10月26日から、クラブセントラルに3年間の目標を入力できるようになるので、クラブの目標を入力して活用してほしいとのことでした。水野国際ロータリー理事からは、RI会長のビデオメッセージのあとに、現況報告をしていただきました。世界的にみると、クラブ数は増えているが会員数は減少しているとのことで、すなわち基盤が下がっているとのことでした。10月1日現在の全世界の会員数は116万7793人ですが、2030年に向けて、125万人を目指すとのことでした。

ポリオについてもお話があり、パキスタンで特に増加している、紛争が障害となっているとのことでした。ここ10年間のアジアの会員推移を表で示されましたが、タイと日本は、コロナ前がピークでその後会員数が減少しています。日本は、2018年の8万7684人がピークで、2023年は8万2097人と、5000人ほど減少しています。これに対し、フィリピン、台湾、インド、中央東南アジア、南アジアは、ここ3年間の間に、過去最高の会員数を出しています。特に韓国は、100周年に向けて3ゾーン獲得を目指し、会員増加を図っているとのことでした。韓国の2023年の会員数は6万2745人です。日本の2023年の会員数は8万20

97人で、2.5ゾーンなので、3ゾーンを取り戻すことを目指すとのことでした。

日本の現状と課題として、例会運営が固定化されている、例えば例会を昼に実施しているところがほとんどですが、世界ではあまりないとのことです。運営主体あくまでもクラブなので、柔軟性を促進してほしいとのことでした。また、先ほどの吉川ガバナーのお話と共通するのですが、若い世代の取り込みと女性会員比率の低さが課題とのことでした。2760地区の女性割合は、世界と比べて相当開きがある、日本の平均が8.11%なので、それを上回ってほしいとのことでした。誰でも温かく迎える文化をはぐくみ、会員基盤を維持、拡大して会員増強を図っていくべきとのことでした。

今回は、イベントホールと、白鳥ホールをサテライト会場として開催され、非常に活気あふれる大会でした。

小倉廣三君



2024—25年度 国際ロータリー第2760地区 地区大会 第2日目に参加させていただきました。2日間の前半は山田朝子君に報告していただきますので私は後半の報告をさせていただきます。

15時00分より読売テレビ系「そこまで言って委員会」にも出演されてみえます宮家邦彦様の講演を拝聴いたしました。「地政学と日本の大戦略」という演題にてアメリカ大統領選挙や世界情勢など貴重なお話を拝聴することが出来ました。16時8分よりRI会長代理・前年度ガバナー・前年度地区大会ホストクラブに感謝状の贈呈が行われました。国際ロータリー・ロータリー財団・米山記念奨学会・地区表彰と続き、その中でも西名古屋分区 名古屋RCの創立100周年の表彰・東尾張分区 名古屋空港RC様の創立50周

年の表彰につきましては長きに渡りロータリーの伝統を受け継いで100年・50年経過されたことに心より敬意を表したいと実感いたしました。あまRCも無事に100周年を迎える日が来ますことを祈願いたします。

16時35分より大会記念行事として愛知県知事大村秀章様・春日井市長に寄付目録が贈呈されご挨拶を頂戴いたしました。ガバナーエレクト・ガバナーノミニーの紹介・ご挨拶と続き、吉川公章ガバナーより国際大会のPR・次年度地区大会ホストクラブの豊橋RCより地区大会のPRを拝聴いたしましたのち、水野功IR会長代理の大会講評・加藤久仁明地区大会実行委員長の御礼の言葉・吉原孝彦ガバナー補佐の閉会の言葉を拝聴しましたのち盛大なうちに吉川公章ガバナーの点鐘にて地区大会は無事閉会となりました。宮家邦彦様の講演終了と同時にたくさんの皆さんが退席されましたことは少し残念な気持ちになりましたが大変有意義な一日を過ごすことが出来ました。以上地区大会の報告とさせていただきます。





「ハイライトよねやま Vol.295」

米山学友会が被災地で合同ボランティア



9月15日、第2610地区米山学友会と第2660地区米山学友会が合同奉仕活動として、能登半島被災地支援ボランティアを実施しました。両学友会は今年の6月から活動計画や意見交換を行っており、被災地支援と両学友会の親睦強化を目的とし、第2610地区学友会から13人、第2660地区学友会から24人の米山奨学生・学友、第2610地区の大橋聡司ガバナー、輪島RC、小矢部RCのロータリー会員が参加しました。

当日は輪島市役所を訪問し、総額40万円（第2660地区学友会から30万円、第2610地区学友会から10万円）の支援金を輪島教育委員会へ贈呈。この支援金は今後、輪島市の学校の復興に役立てる予定とのことです。その後、介護老人保健施設「百寿苑」へ移動し、利用者のベッドや冷蔵庫、転倒したタンスなどを撤去するボランティア活動を行いました。第2610地区学友会会長の範雋偉（ハンジュンイ）さん（2015-17／小矢部RCC）は、「復興活動を続けていき、被災地域の方々に少しでも安心と希望を届け

ることができればと思います」と述べました。



### 米山月間の由来

10月はロータリーの特別月間に加え、日本独自の月間テーマ、米山月間となっています。なぜ、10月が米山月間なのでしょうか？

1975年8月、米山梅吉翁が逝去した4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですで行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。しかし1980年度になると、米山週間は4月から10月1日～7日へと変更されました。その理由はいくつかあります。一つには「ロータリー雑誌週間」が1978年度から4月となり、重なってしまったこと。また、4月では各クラブへ送付される事業報告書などの資料数字が約1年前のものとなることや、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼することに無理がある、交通機関のストライキが多い、など現実的な支障があったためです。そして何よりも、東京RCによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも10月だったこと、これが大きな理由とされています。1983年からは週間制度が「月間」となり、10月が米山月間として定着し、今に至っています。

